

# 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の小田原市の結果について

小田原市教育委員会

## 1 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力の状況を把握・分析することにより、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 教育委員会が、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、児童生徒の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書：令和7年12月 スポーツ庁)

## 2 調査対象：小学5年、中学2年

## 3 調査事項及び内容

- (1) 実技調査・・・新体力テスト（8種目）
  - ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン又は持久走
  - ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ(小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール)
- (2) 児童生徒に対する質問紙調査・・・運動習慣・生活習慣等に関する項目
- (3) 学校に対する質問紙調査・・・児童生徒の体力向上に係る取組等に関する項目

## 4 調査実施日

- (1) 実技調査・・・令和7年4月～令和7年7月
- (2) 質問紙調査（児童生徒用、学校用）・・・令和7年7月

## 5 実技調査の結果

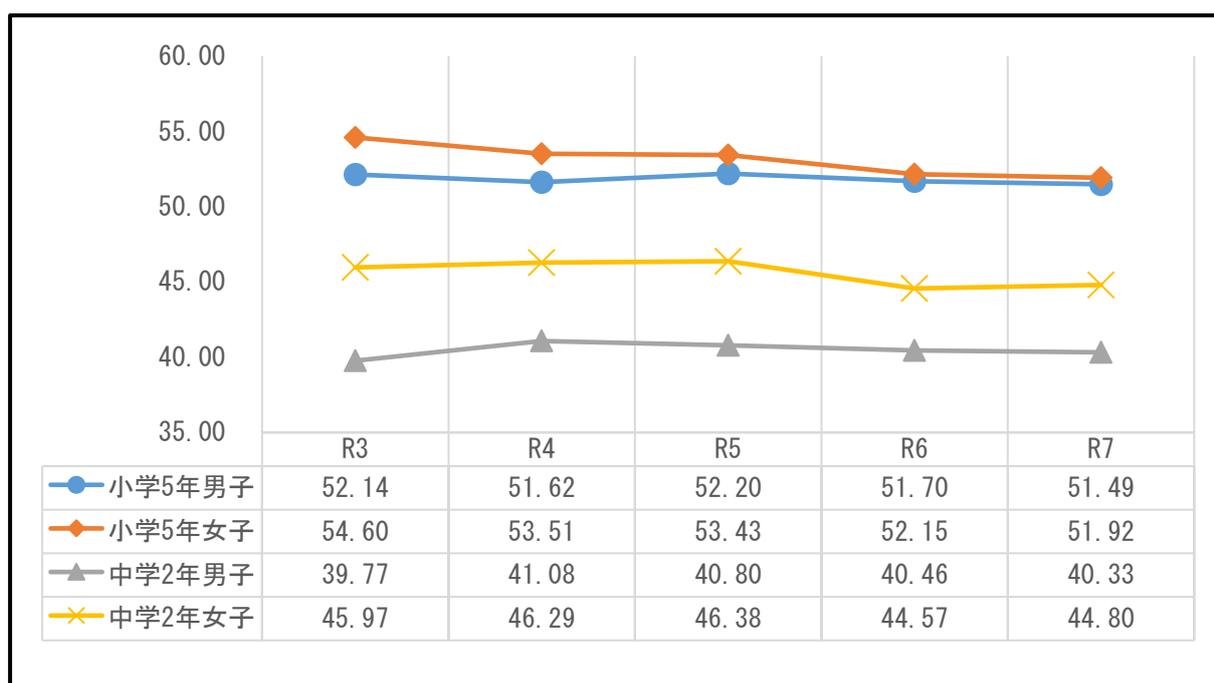
(1) 体力合計点（平均）の経年比較【資料1】

小学5年	男子 ●			女子 ◆		
	小田原市	神奈川県	全国	小田原市	神奈川県	全国
R7	51.49	52.45	53.02	51.92	52.72	53.97
R6	51.70	52.59	52.53	52.15	53.00	53.92
R5	52.20	52.25	52.59	53.43	53.29	54.28
R4	51.62	52.27	52.28	53.51	53.63	54.31
R3	52.14	52.41	52.52	54.60	53.62	54.64
中学2年	男子 ▲			女子 ✕		
	小田原市	神奈川県	全国	小田原市	神奈川県	全国
R7	40.33	41.57	42.20	44.80	46.69	47.58
R6	40.46	41.25	41.86	44.57	46.30	47.37
R5	40.80	40.84	41.32	46.38	45.90	47.22
R4	41.08	41.49	41.04	46.29	46.75	47.42
R3	39.77	40.31	41.18	45.97	46.56	48.56

※体力合計点：8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して合計した点数

(2) 本市の体力合計点（平均）の経年比較【資料2】

(単位：点)



(3) 判定分布の経年比較 (男女平均値)【資料3】

(単位：%)

小学5年	A (65~80)	B (58~64)	C (50~57)	D (42~49)	E (41以下)	D・E 合計	R7全国 D・E合計
R7	7.5	18.6	34.4	26.2	13.1	39.3	32.4
R6	7.6	20.6	35.6	23.8	12.4	36.2	
R5	10.9	21.1	32.6	23.4	11.9	35.3	
R4	9.5	21.6	33.1	23.3	12.7	35.9	
R3	10.3	22.8	33.0	22.4	11.6	34.0	
中学2年	A (57~80)	B (47~56)	C (37~46)	D (27~36)	E (26以下)	D・E 合計	
R7	14.6	22.3	31.2	23.2	8.6	31.8	24.3
R6	12.3	23.4	33.5	22.9	7.9	30.8	
R5	13.8	28.0	30.7	20.4	7.0	27.4	
R4	15.7	25.0	30.8	22.1	6.4	28.5	
R3	7.1	22.6	32.9	25.4	12.1	37.5	

※判定基準：8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して合計した点数を、括弧( )の基準によりAからEの5段階で判定します。

※四捨五入した元データ値(スポーツ庁集計データ)を用いて男女平均値を小数第2位で切り捨てしていることから、A～Eの百分率の値の総和が100にならない場合があります。

(4) 種目ごとの平均値【資料4】

小学5年	男子				女子			
	小田原市	神奈川県	全国	T得点	小田原市	神奈川県	全国	T得点
握力 (kg)	15.63	16.33	15.96	49.2	15.35	15.83	15.61	49.3
上体起こし (回)	19.34	19.48	19.46	49.8	18.08	18.12	18.36	49.5
長座体前屈 (cm)	34.56	34.92	33.88	50.8	37.70	38.90	38.15	49.5
反復横とび (点)	37.95	38.34	40.89	46.5	35.71	35.61	38.70	46.1
20mシャトルラン (回)	46.86	45.80	47.94	49.5	35.03	33.85	36.85	48.9
50m走 (秒)	9.40	9.44	9.46	50.5	9.74	9.77	9.77	50.4
立ち幅とび (cm)	140.92	148.54	150.93	46.0	131.54	138.61	142.34	45.5
ソフトボール投げ(m)	20.62	20.44	21.06	49.5	13.15	12.76	13.11	50.1
<b>体力合計点 (点)</b>	<b>51.49</b>	<b>52.45</b>	<b>53.02</b>	<b>48.4</b>	<b>51.92</b>	<b>52.72</b>	<b>53.97</b>	<b>47.7</b>
中学2年	男子				女子			
	小田原市	神奈川県	全国	T得点	小田原市	神奈川県	全国	T得点
握力 (kg)	28.96	28.65	28.95	50.0	22.74	23.00	23.15	49.1
上体起こし (回)	25.88	26.10	26.09	49.7	21.07	21.34	21.70	49.0
長座体前屈 (cm)	45.46	45.08	45.12	50.3	45.93	46.82	46.99	46.0
反復横とび (点)	48.94	50.03	51.64	47.1	43.46	43.87	45.65	47.2
持久走 (秒) <small>一部のみ実施</small>	423.71	411.40	409.25	48.0	341.42	317.43	309.66	43.9
20mシャトルラン (回)	69.08	78.64	78.82	46.2	43.91	49.53	50.60	46.6
50m走 (秒)	7.94	7.96	8.00	50.6	8.95	8.92	8.97	50.2
立ち幅とび (cm)	191.60	195.11	197.51	48.2	158.89	163.99	166.44	47.4
ハンドボール投げ(m)	21.43	20.50	20.74	51.1	12.61	12.13	12.43	50.4
<b>体力合計点 (点)</b>	<b>40.33</b>	<b>41.57</b>	<b>42.20</b>	<b>48.3</b>	<b>44.80</b>	<b>46.69</b>	<b>47.58</b>	<b>47.7</b>

\*T得点・・・全国平均値を50点とした時の相対的な得点を示すもの

\*小田原市の  は、全国比+の項目

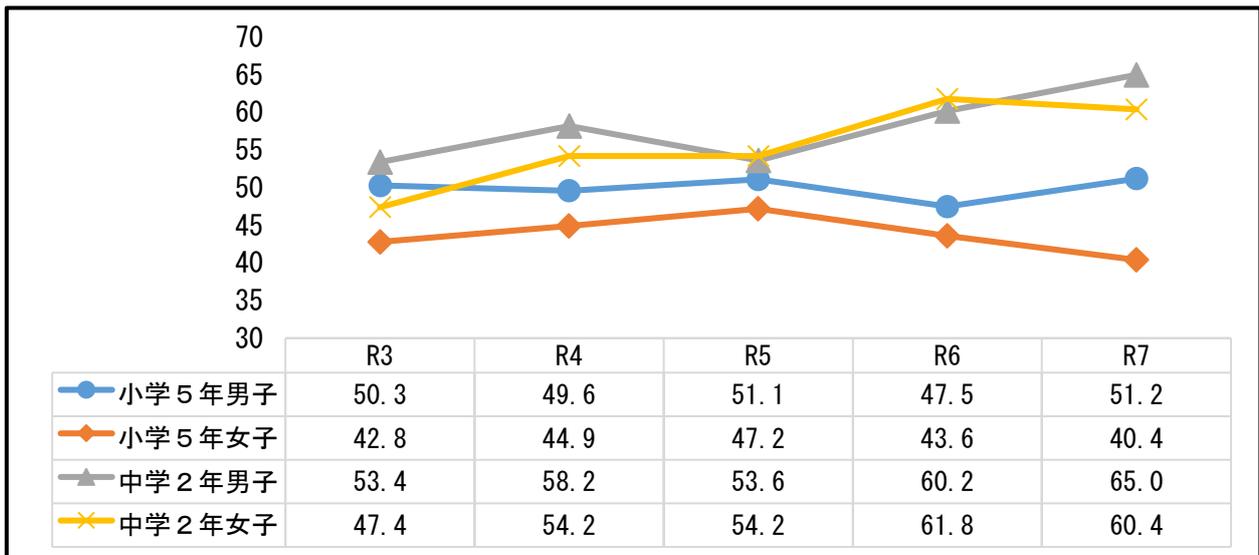
## 6 質問紙調査の結果

(1) 児童生徒質問紙調査の結果から 【資料5】

(単位:%)

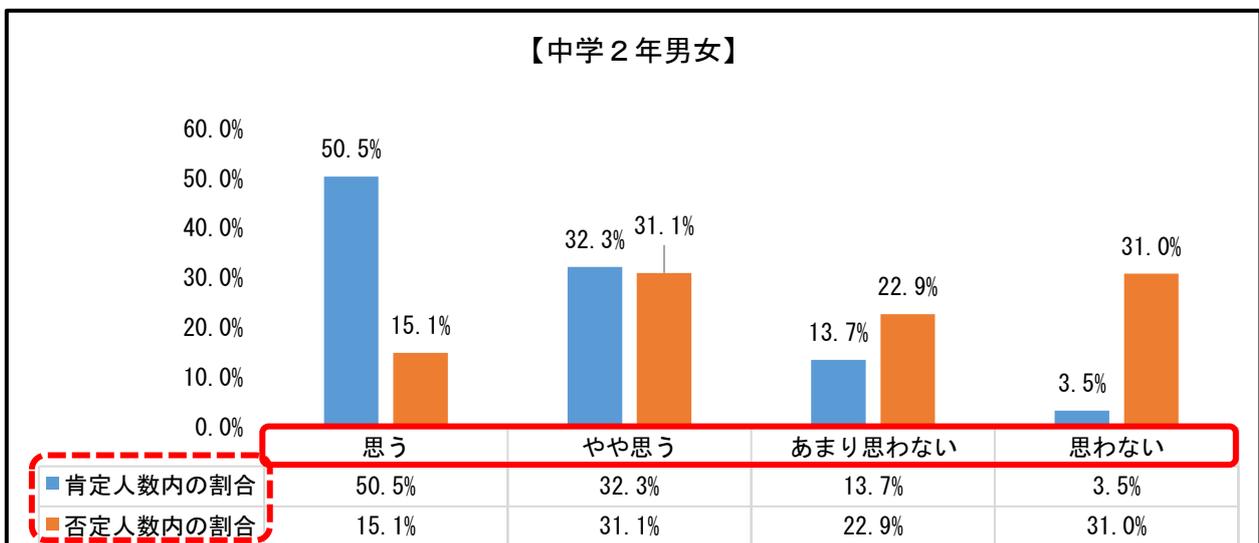
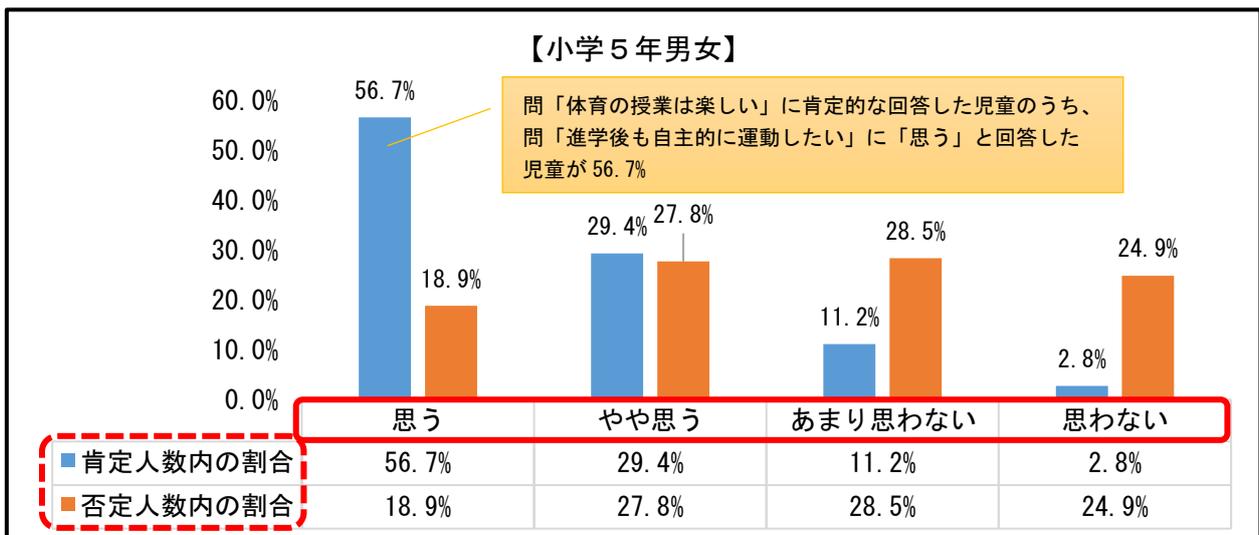
小学5年	回答	男子 ●		女子 ◆	
		小田原市	全国	小田原市	全国
運動が好き	好き・やや好き	93.0	93.4	84.5	85.8
体育の授業は楽しい	楽しい・やや楽しい	95.6	94.6	90.5	88.1
今後、どのようなことがあれば、 今より体育の授業が楽しくなると思 うか	自分に合ったペースで 行うことができたなら	37.9	39.3	55.7	55.2
	できる・できないだけで 比較されなかったら	27.6	25.4	34.4	38.7
	自分に合った場やルール が用意されていたら	24.1	27.1	41.0	32.2
	できなかったことが できるようになったら	55.2	39.7	39.3	52.8
体育の授業以外の運動等の時間	1週間の総時間(分)	584.0	524.1	323.6	315.8
中学校進学後も自主的に運動したい	思う・やや思う	86.8	86.9	80.1	80.6
1日の睡眠時間	7時間未満	11.1	11.0	9.0	9.6
平日に学習以外でテレビやDVD、ゲー ム機、スマートフォン、パソコンなどの 画面を見る時間(スクリーンタイム)	3時間以上	51.2	42.7	40.4	37.4
中学2年	回答	男子 ▲		女子 ✕	
		小田原市	全国	小田原市	全国
運動が好き	好き・やや好き	88.0	91.1	72.5	77.3
保健体育の授業は楽しい	楽しい・やや楽しい	92.4	92.2	77.5	84.2
今後、どのようなことがあれば、 今より保健体育の授業が楽しくなる と思うか	自分に合ったペースで 行うことができたなら	50.0	36.5	62.0	57.1
	できる・できないだけで 比較されなかったら	28.0	25.3	42.6	39.1
	自分に合った場やルール が用意されていたら	26.0	22.7	34.1	32.3
	できなかったことが できるようになったら	28.0	36.8	56.5	53.5
体育の授業以外の運動等の時間 (部活動等の時間を含む)	1週間の総時間(分)	745.6	758.5	535.3	520.3
中学校卒業後も自主的に運動したい	思う・やや思う	83.9	87.3	80.3	87.3
1日の睡眠時間	7時間未満	27.8	25.8	38.5	36.2
平日に学習以外でテレビやDVD、ゲー ム機、スマートフォン、パソコンなどの 画面を見る時間(スクリーンタイム)	3時間以上	65.0	50.8	60.4	50.2

(2) 視聴時間（スクリーンタイム）1日平均3時間以上の経年比較 【資料6】 （単位：％）



(3) クロス集計 【資料7】

体育／保健体育の授業は楽しい × 中学校進学後／卒業後も自主的に運動したい



(4) 学校質問紙調査の結果から【資料8】

ア 体育の授業について

(単位：%)

質問	回答	小学校		中学校	
		小田原市	全国	小田原市	全国
大切にしていること (上位5つ)	体を動かす楽しさを実感させること	96.0	98.7	100.0	97.9
	仲間と協力して課題解決させること	80.0	82.5	100.0	86.2
	苦手意識を持たせないこと	72.0	58.1	50.0	54.1
	運動量を確保すること	56.0	83.7	90.0	77.1
	技能の程度、障害の有無に係わらず、共に学習させること	56.0	43.7	100.0	49.0
児童生徒同士で話し合う活動 (すべてまたは一部の学年で取り入れている)		100.0	98.8	100.0	98.3
ICT活用頻度(週1時間以上の活用状況)		32.0	46.7	70.0	61.6

イ 児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組

(単位：%)

質問	回答	小学校		中学校	
		小田原市	全国	小田原市	全国
人的・物的資源等を、外部資源も含めて効果的に組み合わせること	おこなっている	60.0	80.8	40.0	72.8

## 7 まとめ

スポーツ庁は、「第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）」において、「生涯にわたって、運動・スポーツを継続したい児童生徒」の割合を90%以上に増加させることを目標としています。本市の運動習慣等調査では、「体育／保健体育の授業は楽しいと思う児童生徒」は、「卒業後も自主的に運動したい」と考えている割合が高い傾向にあります【資料7】。また、今より体育・保健体育の授業が楽しくなることについて、体育・保健体育の授業は「楽しくない」と感じている児童生徒は、「自分のペースで行うことができたなら」という回答が小中学校ともに高い傾向にありました。そのため、児童生徒が意欲的に体育・保健体育の学習に取り組むために、課題解決に向けた「個別最適な学び」や、仲間との「協働的な学び」の充実を図る授業実践の中で、各種目の特性や楽しさを伝えることで、自主的に運動に親しむ児童生徒が増えていくのではないかと考えます。

さらに、小学校学習指導要領解説体育編（平成29年7月）および中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年7月）では、「自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連づけること」と示されており、運動やスポーツを多面的に捉え、生涯を通じて運動やスポーツに関わる力を養い、一人ひとりが自分なりの関わり方を見つけ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るための土台づくりとして小中学校は大切な時期です。教師が各種目の魅力を発信し、児童生徒の興味・関心の可能性を広げ、運動やスポーツが「楽しい」と思う機会を増やしていくことが大切だと考えます。

また、児童生徒質問紙調査の結果から、小中学校男子の映像等の視聴時間（スクリーンタイム）が増加しています【資料6】。併せて、全国と比較すると全体的に視聴時間が長い結果となりました。スポーツ庁の「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」では、「運動時間が少ない児童生徒、及び朝食欠食が多い児童生徒ほど、スクリーンタイムが長い傾向にある」と記載がありました。スマートフォンやゲーム機等の使い方が発育・発達に及ぼす影響については、保健の授業や各校による実践だけでなく、家庭と連携した取組が必要になります。

学校質問紙調査の結果【資料8】から、児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組において、「人的・物的資源等を、外部資源も含めて効果的に組み合わせること」の設問については、「おこなっている」とする回答の割合が全国と比較して低くなっています。

そのために市教育委員会では、大学と連携し、体力・運動能力向上指導員を小学校に派遣し、児童に助言・師範することで、意欲的に運動に取り組める環境づくりを行います。また、オリンピック・パラリンピアン等の著名なアスリートを派遣することで、児童生徒が運動に対する興味・関心を高め、自主的に運動を「する」気持ちを醸成することに加えて、「見る」「支える」の観点からも運動に親しもうとする児童生徒の育成に努めています。教職員に対しても、体力向上プロジェクト会議を開催し、体力・運動能力の向上に向けた各校の取組等について意見交換を行うとともに、情報提供に努めていきます。